

平成30年2月定例教育委員会議事録

(白石町教育委員会会議規則第16条及び第17条の規定により作成)

- 1 日 時 平成30年2月16日(金) 午前10時00分
役場3階 会議室5
- 2 出席委員 北村教育長 稲佐委員 大串委員 下田委員 松尾委員
- 3 事務局職員 吉岡学校教育課長 千布生涯学習課長
石橋主任指導主事 中村指導主事
原学校教育係長 川畑庶務係長
- 4 前回議事録の承認
1月定例教育委員会の会議録 【原案どおり承認】
- 5 教育長の報告 別紙資料のとおり
- 6 会議に付した議案
付議第3号 平成30年度主要事業について
付議第4号 平成30年度準要保護の認定について
付議第5号 学校統合について
付議第6号 平成29年度末町内辞任式等の実施について
- 7 動議の提出者 なし
- 8 議事の概要 別紙資料のとおり
- 9 議決事項 付議第3号から付議第6号すべて議決
- 10 その他
 - ・事務局からの報告
 - ・傍聴者 1人

1 開 会 9:57

吉岡課長

2 前回議事録の承認 9:57

1月定例教育委員会の会議録を資料により説明

委員全員承認

3 教育長の報告 9:59

(前回以降の主な動向)

如月の月もあつという間に後半になりました。今日は、2月期の定例教育委員会ですが、ご承知のように実は大串委員さんが本日までの任期ということで、お引きになられます。8年間の教育委員を務めていただいたことになると思いますけど、毎月のこの会、それから学校訪問、学校関係の色々な式、体育大会とか文化発表会等の行事、町関係の行事、研修会等、本当に色々のご尽力いただきましてありがとうございます。その間、貴重なご意見、提言等もいただきまして、本当に教育行政を陰に陽に助けていただいたことに、あらためてお礼を申し上げます。今日が最後となられますけど、どうぞ今後とも、ご承知のように町の教育の問題は、学校再編の問題、不登校の問題、それからコミュニティ・スクールの更なる進展等色々抱えてますので、どうぞ外から、また、一町民の目で貴重なご意見を賜ればと思っておりますので、どうぞよろしく願いします。どうぞ、くれぐれもご自愛いただきまして今後ともよろしく願いしたと思っております。

1/25 アウトリーチ音楽演奏会（福富小・有明南小）＜サクソフォン：大石将紀、ピアノ：新居由佳梨＞

今回は、サクソフォンとピアノ、大石さん、新居さんどちらも東京芸大の同級生ということで素敵な演奏を聴かせていただきました。

1/27 おおどぼう倶楽部活動（最終回）、閉校式

生涯学習課の方で進めていただいておりますが、6月3日から今年度8回、自然体験、宿泊体験、漁業体験、それから文化芸能体験等色々頑張ってくれました。最終回ということで、修了証書を渡しまして、今年度閉校したところです。子どもたちが将来、町の推進役として頑張ってくれたらなあと願いを思っているところです。

2/ 1 学校再編にかかる先進地視察（みやま市、大牟田市、＜学校教育課、企画財政課＞）

今後の進め方の参考にと視察をしていただいたところです。

2/10 三十一文字コンテスト表彰式

もう恒例になっておりますけど、三十一文字コンテスト表彰式があり

ました。全国から今回は3,560首応募がっております。昨年は、2,166でしたので、およそ昨年より1,400増えています。本当にたくさん応募いただいて、感謝に堪えないところです。その中で歌垣賞が、京都市の岸野由夏里さんの作品です。「十年で初めて君がありがとうなんていうから煮すぎた南瓜」ちょっと俵万智さん風かなあと思うんですけど、なかなか、素敵な作品だと思います。実は、私は個人的に教育長としては、小学校の最優秀作品がありますが、紹介しておきます。「母さんがあははと笑えば草や木も金魚もぼくもあははと笑う」かなり審査員の方達にも好評だった、やっぱり家庭の中心はお母さんだと、お母さんは太陽だというようなところで、山口県の横道君という小学生の作品です。それぞれの優秀作品は、プレートで歌垣公園の方に掲示されるということになっております。

2/11 県内一周駅伝大会杵島郡結団式

本日から3日間、県内一周駅伝、杵島郡チーム頑張ってくださいと思っています。

(問題行動等報告)

(1) 問題行動

1月について問題行動等はありませんでした。

(2) いじめ問題

「いじめ」について、別添資料をご参照ください。今回いじめ等の報告はございません。ただ解消のところの印の下にアンダーラインを付けておりますが、小学校で2つ、中学校で1つ解消ということで報告が来てます。

中学校の報告番号4番が7月の事案で、まだ解消の報告が来ておりませんが、もう少し様子を見させてくださいと、もめているわけではありませんが、もう少し観察させてくださいということで報告受けております。

(3) 不登校

資料を参照ください。前月と変わりましたが、中学校がマイナス3となっております。もう完全に通常に登校できてますという報告。中学校1年生の1人と中学校3年生の2名はこの対象から除外しております。ただ、番号1番の生徒、ほとんど休みゼロ、欠席ゼロですが、まだ別室登校を続けておりますので、まだしっかり関わっていただくということで対象としております。小学校で30日をオーバーしている児童が3名、完全不登校が1名いらっしゃいます。中学校が30日以上欠席者が14名で完全不登校が8、ちょっと増えました。前月が6人でしたが2人ほど増えてます。3年生等もおりますので、進路等で本人も非常に気をもんでいるとは思いますが、しっかり関わってはもらっておりますけど、欠席日が増えてしまいました。この不登校の問題では、全国的に大きな問題になっておりますが、発生率が全国では小学校が0.4%ほどです。

本町が、今、30日以上欠席者ということで0.24%ぐらいです。中学校が、全国が3%ぐらいで、本町が2.35。全国よりちょっと下回っていますが、ただ、個々の学校を見ると例えば中学校では、4%ぐらい達しているところがあって、一朝一夕に行きませんが、やっぱり有効な支援を行うためのその背景、あるいは日ごろの生活、あるいは職員、担当者の関わり、そういったものをしっかり分析して、有効な関りが出来るよう今年度のまとめをしっかりとお願いしたいなと思っております。併せて、後日新規事業でもお諮りしますが、やっぱり、目の前の問題、課題に逃げないで、それに向かって乗り越えていくという逞しさ、自信、へこたれない心というのを小さいうちから、繰り返し、繰り返し経験していかないと難しいと思います。こういうものは根本的な問題で、カウンセラーというのは対処療法にすぎません。もちろん目の前で悩んでいる子についてはしっかり支援を怠りなくしていかなくてはいけません、併せて根本的な自分の人生を、自分が主人公で乗り切っていくという逞しさ、へこたれない心というのでも小さいころからということで、やはり幼稚園、保育園、あるいは小学校低学年の頃から保護者と連携して考えていく必要があるということで、新年度こういったことの勉強会、講演会の予算もいづらか確保できておりますので、この件については、また別の機会に説明させていただきたいと思っております。いずれにしても本当に教育相談、主任、養護の先生、担任の先生、それからコンフォート「あい」のスタッフとスクールカウンセラーの先生、本当によくかかわってもらっていると思っております。

(杵西・藤津地域教育長会より)

資料を参考までにお示ししますのでご覧ください。

(1) 平成30年度佐賀県立中学校入学者選抜実施状況について

28年度からの分で、少し倍率が落ちてきている傾向があります。

(2) 平成29年度子ども離島交流事業応募者数について

県を挙げて実施されていますが、応募者が194名ということで、非常にこういう離島への就学というのも非常に増えてきているという状況があります。やはり、学ぶ環境をあえて選んでという風なものが増えていきます。白石町からも5名応募されていますので色々考えがあるようです。

(3) 平成29年度小・中学校卒業式及び修了式期日一覧

(4) 工業系高校生による「ものづくり体験教室」実施事業

工業高校の高校生もこういう形で頑張っていますよということのお知らせです。工業系の高校生もこういう風な関り努力しておられるのをぜひ知っていただきたい。

(5) 平成30年度佐賀県立特別支援学校小・中学部入学・転学児童生徒について

合計104名、状況を聞きますと定員いっぱいであるということです。一番近いうれしの特別支援学校の校長先生のお話を伺っても、これ以上受け入れられない状況でパンク寸前であるというお話はよくお聞きしているところです。

(6) 佐賀県内中学生の SNS の利用等に関する調査について (概要)

佐賀県の中学校の生徒指導連盟の方で全県的に実施をされた SNS の利用にかかる調査の状況です。最初に通信可能な機器の使用については、自分専用のもので61%でありますので、だいたい中学生は6割が自分のいわゆるスマホだと思えますが、6割持っている、本町についてもこのレベルと置いていたところです。1日平均の利用状況とか休日の利用状況とかトラブルにあったことがあるかとかが出ておりますけど、これも勝手にアップされ、なかなか取り消しが利かないということで、時々問題になってますけど、この利用については、お互いが検討しないといけないと思えます。六角小学校については、利用させないということで、PTAの方で先行的に動いてもらってますが、郡のPTAでもこのことはずっと懸案で対応されてます。郡のPTAと3町の行政で連携して進めましょうということで、昨年からは動いていますが、なかなかPTAの方が色々な意見が出てまとまらず、もう少し時間がかかるということです。動いておられることは、間違いありません。

(2) 交通事故発生(加害等)状況調べ

1月が小中併せて10件、なかなか厳しいです。

(人事異動協議会より)

人事異動については、人事異動協議会。西部教育事務所管内ですが、3回が終わりました。今回より藤津・杵西という風に分かれずに西部教育事務所全体で一つになって動きましょうということで、今年度から進められています。今、附属小中学校とか行政関係がほぼ終了して、管外、いわゆる地域外、佐賀とか唐津とかそういうところとの交流がスタートしているところで、今月末から3月の初めころまでに大体、大方の目途がつくものと思えます。

次のページが児童、生徒、学級数の増減の表です。小学校は、若干増えております。中学校は611人と大幅に減になっておりますけど小学校が若干増え全体としては、577人減ってます。

次のページが職員の配当基準表です。これは、県地連の方で承認された分ですが、この学校に職員を何人配当するというのは、学級数によって決まるというその基準表がこれです。ちょっと気に留めてもらいたいの、学級数が1減って1名減ではないというところがあります。例えば、5クラスと6クラスの変り目が12から14と2人変わります。こういうところがあります。それから10クラスから12クラス、ここが2人減になりますので、こういうところ

が、神経を使われるところです。ご承知いただきたいと思います。

最後の資料です。参考までに先生方が異動希望として出された第1希望のみを集計したものです。そうすると圧倒的に杵島が多いです。これは、ずっと以前からの傾向で、杵島といっても大町、江北は、例えば小学校は1校しかありませんので、ほとんど白石町に関わってきます。人気があるのはいいですが、これだと全体が回りません。特に武雄、伊万里に行ってくださいの方が少ない、鹿島、太良は周辺部ですからなかなか行っていただけない。こういうところが少ないので、あくまでも希望は希望で、希望以外でも動いていただかないと全体が収まらないということで、いろいろ調整をしないといけないという状況です。

4 付議事項の協議 10:23～

付議第3号

平成30年度主要事業について

川畑係長、千布課長から資料により説明。

稲佐委員：先ほどの説明で小中一貫教育研究事業の廃止になったということで、途中2年間ということで、学校統合ということも絡んできたということですが、まあ、学校自体は小中一貫の教育を進めていくということでしたが、進めるうえでの予算とかはつかないのでしょうか。

吉岡課長：予算の一つの事業として、研究指定そのものが終わりましたので、事業項目は削除、ただ、当然消耗品とか必要な分は一般予算で。

稲佐委員：必要経費は一般予算で出るということですね。

吉岡課長：はい。ただ、実際は、講演会とかは予定してありませんので、通常の教育関係の入れ替わりのところを丁寧にされていくということです。

松尾委員：31番センター給食運営費と33番センター給食食材費が増えていますが、人数がそんなに増えているのでしょうか。

吉岡課長：センター関係は、大きなものは色々な備品が痛んでまいりましたのでその買い替えが一つございます。それともう一つ調理員がなかなか今、集まらないところがございます、それで、直接雇から派遣の方を増やす予定にしております、そこで増えている。派遣費が高くて、1.4倍くらいあります。その分が増となります。

下田委員：青少年育成事業の監事をさせていただいていますが、稲佐先生のところみたいに、子どもさんに寄っていただいておりますというあの事業で、いつも思うのですが、年間トータルではお金が余っている。町に返しているという決算になりますが、それを頑張

ってやってくださっている方にもう少し補助をあげられないですかというように話をさせていただいてますが、いかがでしょうか。

千布課長：青少年育成町民会議の中の例えば、町内のお寺の中やっていたいているような分ですよ。

下田委員：はい。

千布課長：一応、年間通してこれくらいの金額でという。

下田委員：50万円くらいの予算です。

千布課長：トータルですね。町民会議の中の予算で、大体使ってしまったている。いくらかは、残は出るんですけど、規定上は限度額いくらというその中で補助をしています、当初想定していたところより、実施していただくところが少なかったということで、結果残が出てきており、余ったからと言ってどこかに多くやるということではできませんので。

下田委員：あれを見ていると、主催して下さっている方が、結構手出しをしてやって下さっているのが現状のようです。ちょっと、報告として。

千布課長：ちょっと、その辺の補助金の中身の問題ですね。

下田委員：その事業、それを含めた事業のところマイナスになっていましたので、どうかなあと思いました。

北村教育長：今、下田委員さんのご指摘の件ですが、去年ずいぶん働きかけをしまして、開催を結構たくさん見込んでおりました。

千布課長：はい。件数を増やしております。出来れば、多くの地区でしていただきたいということで。

北村教育長：コミュニティの一環で、是非地域の中で子育てについても応援よろしくお願ひしますと、実際色々、子供は少ないし重複したところが出てきて、思ったより数がありませんでした。

吉岡課長：すみません。先ほどの松尾委員さんへの説明で、31番のセンター給食運営費と33番のセンター給食食材費が昨年度より相当金額が増えている部分ですが、一番基本的なところを言い忘れておりました。これは、予算は学校、自校方式を除くセンターの分だけの予算でして、それを前年度と比べております。それで、去年の前年度当初には、福富中学校の金額がここには入っていませんでしたもので、途中から補正をしたので、当初と比べた場合その部分が一番メインの福富中学校の分と食材費が増えております。それと機器のところが増えたのと福富中学校の調理員の分が結局派遣費として増やす必要がありましたので、そういう状態になっております。

稲佐委員：生涯学習課の予算で、1億3千ちょっとありますが、例えば利用頻度が少ないような場所とか、そういったところは、まあ、旧3町でも体育館、グラウンド、そういう設備が十分整っていると思います。ただ、頻度が少ないようなところとか、あるいは、ここは必要がないかと思うところは、思い切って減にするとか、消滅させるとか、それから3地域それぞれバランスよくしなくてはいけないとかではなく、ある程度全権下で思い切った財政の予算の与え方をしていかないと、どうしてもバランスを考えたりとかしていくと、ここをやるならここも非常にアップアップ状態になるのではと思います。古今の森はよかったと思います。あそこは、非常に頻度が少ないです。年間どれくらい利用しているか解りませんが、地域学習の中で子どもたちが社会科学習で特に南小学校はやっているようですが、有明中学校、白石町中学校から移動しての学習はしていませんし、やっぱり、そう頻度の少ないところは減らしていったいいのではという感じを持ちました。

千布課長：稲佐委員さんおっしゃるとおり、かなり今の白石町の施設というのは充実と申しますか、たくさん施設があります。合併してそれだけ施設が増えましたけど、やはり、施設自体も老朽化してそれなりの維持管理費の予算もかかっています。そういうことで、こういった社会教育、社会体育施設に限らず学校施設も含めて、町の施設全体について言えることですが、今後、白石町の総合管理計画というのを29年度策定しまして、今後20年間ですか、全体数量を30%、その総量を削減することになります。

稲佐委員：思い切った対策が必要だと思います。

千布課長：そういうことで、今後、あとは今、基本計画では公共施設、白石町の総合管理計画ということですが、後は、各社会教育施設、社会体育施設、学校施設、それぞれで今後どういう施設を持っていくのかというのを、計画を作り、その中で、この施設は統廃合をするというような方針を決めていくことになります。そういう利用頻度が低いところは廃止ということもあるかと思えます。

吉岡課長：今の話の関連で、学校教育の方の報告をいたします。実は今度の予算で、この資料には出てこないのですが、中学校のプールを来年度考えることといたしました。と申しますのは、有明中学校は、自由館の方で活動しておりますが、白石と福富中学校が自校にプールがございます。もう相当これが古くなっていて、いつ壊れるかわからない。壊れた場合には、数千万円の壊れ方にもよりますが、お金がかかるということで、両校さんに白石と福富に自校の

プールを今後使用できないということの前提で準備をしてくださいとお願いをしまして、まず、福富中学校については、31年度からは、福富小学校のプールを使って、白石中学校については、31年度からは、他の学校プール、北明小学校とか有明の自有館等での授業を検討してくださいとお願いをしております。ということで、今年度、30年度自体のプールの維持費も修理費等は見込まないという形で思っております。

北村教育長：教育施設面で本当は、きちんと整えてあげたいのですが、今のような状況で、特に福富中学校はご覧になったことはありますか？初期のコンクリート製の作りでコンクリート表面もかなり劣化して、かわいそうなくらい、排水も利きませんので途中から排水ポンプで排水しているような状況です。福富小学校との一貫教育もやっておりましたので、合同授業、例えば中学生が小学生の水泳の介助をしながらの合同授業等も試行的にやれますねということで、小学校でのプールの利用を考えてもらっているところです。白石については、ちょっと離れていますので、生徒の運送等で非常に無駄な時間等が発生してしまっていますが、これも計画を進めております。佐賀農業高校にプールがありますので、あそこが利用可能であれば近くてよろしかったんですけど、佐賀農業も全く使ってないと、壊すばかりの状況にしているということでしたのでこれは叶いませんでした。当面、その先どうするかというと、やっぱり町全体のことでですからまた考えていかないといけません。当面は課長が説明したようにせざるを得ないと思っております。

大串委員：とにかく1年の中で何時間かは、水泳の教科という授業を受けないと、設けないといけないわけですね。

北村教育長：はい。必修か、絶対しないといけないか、学習指導要領でなければならぬのは、水の安全教育、例えば着衣入水、これは絶対しなければいけません。でも、水泳の競技そのものの指導は、施設がないところはしなくていいと絶対ではありませんが。

大串委員：水泳は、泳げなかったら死ぬこともあります。野球はできなくても死ぬことはありませんからですね。水泳というのは、そういった意味では大事ではありますね。

稲佐委員：極端に言ったら、ふれあい郷は温水ですから3中学校カリキュラムをずらして、有中がこの時期は使う、白石中が使う、福富中が使うとすれば、もうプールはなくてもいいと思います。着衣水泳もさせることはできますし。

下田委員：あとは移動の問題ですね。

稲佐委員：あとは移動。公民館のマイクロバスですとか。

北村教育長：今、おっしゃられたような事を検討しているところです。

委員全員承認（付議第3号）

付議第4号

平成30年度準要保護の認定について

大川内主任：資料に沿って詳細説明。（継続38件、新規 5件）

厳正なる審査の結果 43件認定 2件却下。

委員全員承認（付議第4号）

付議第5号

学校統合について

吉岡課長：学校統合の事務につきましての経過報告をいたします。学校統合の検討をよりしやすくするために考え方の資料を事務局として作成中でございます。学校統合につきましては、8月の教育委員会で、統合に向けて検討始めるということになりまして、12月議会では、文教厚生常任委員会から統合推進の立場で委員会代表質問がありました。これにつきましては、9月議会と同じく議会答弁として、統合に向けて検討を始めると答弁をしております。現在は、各小中学校の学校運営協議会が開催されておりました、そちらの方に職員が出席をして、この統合に向けた検討を始めたことを学校運営協議会にお伝えをしている状況です。学校統合につきましては、大きな意味でまちづくりにかかわる重要な施策でございます、そのために現在、事務局私どもですが、学校教育課と町長部局の企画財政課と課長、係長クラスの意見交換をしております。それで、先ほど教育長から話がありましたが、2月1日には学校統合を実施しました福岡県大牟田市とみやま市の方に先進地視察ということで係長、課長でお伺いしております。以上、経過報告でございます。

北村教育長：今後、学校教育課、生涯学習課で検討し作成する案を教育委員さんで練ってもらって、教育委員会としての案というのをきちっと持っておきたいと、今後、どういう進め方になるのか、町づくりの一環ですので、その辺りは、町長部局の方で検討いただくこととなりますが、その時のたたき台になればと考えております。今後は、教育委員会とは別に検討会として進めていきたいと思っております。

稲佐委員：この統合にかかわって、我々のこの会はありますが、それ以外に、この他に第三者委員会なるものを作って、住民等の声を聴きながら進めていく、そういうことをされるのですか。

吉岡課長：今後、それが必要になってくると思います。先進地の話を聞いておりますと、まず、説明会等を開くのですが、その前に審議会というのを、教育委員会の方から、その審議会に諮問をすると、それから上がってくると、その上がってきたものを、説明を住民の方に広くしていく必要があるかと思っております。

稲佐委員：そうしたら、議会に提示する場合も、その辺りに詰まったところで出すわけですね。

吉岡課長：もう議会に提示する。議案として提示する時には、もう条例案として出すことになります。もちろん、その前に意見交換会は、必要になってきますが、学校の設置に関する条例の改正という形で、議会としては正式な形になると思います。ただ、そこまではだいぶ期間があります。

北村教育長：今、稲佐委員さんからご質疑があったことは、皆さんもお考えかわかりませんが、今後どのような進め方をするか、事務手続きについても、並行してになりますけど、町長部局の方と検討しながら組織づくり等についても検討することになります。よろしくお願いいたします。

委員全員承認（付議第5号）

付議第6号

平成29年度末町内辞任式等の実施について

石橋主任主事：資料により説明。

教職員の人事異動の報道発表が今年度は早まるということで、予定をしております。それで、県全体の動きとして、これまで新年度の始業式の日には学校で行っていた、辞任式を年度内に行うという方向性になっております。そこで、4月の始業式には新しい職員で児童生徒を迎えることが出来るというメリットがあります。こういった動きの中、先日県の教育長会で3月30日を一応基準日として、県内全体で辞任式を学校で開催しましょうということになり、その意向を受けて白石町でも3月30日に辞任式を行うことができないかということで、案という形で現在示しております。本来、この後の見通しとしては、3月23日金曜日、学校の修了式に間に合わせた方が一番よかったのですが、そこまでは、新聞発表の都合で本年度は出来ない。それで、経

過的な措置として、春季休業中に子どもたちを一応呼び掛けて辞任式を行うという形になっております。

そうした場合の30日の流れがどうなるかという、時系列で話した方がいいと思いますので、まずこの30日というのは、本年度最後の稼業日ですので、退職者対象の表彰式が午前中にまず県庁で行われます。それから、午後2時くらいからこちらにお戻りいただいて、それぞれの赴任されていた学校での辞任式を行う。この時に児童生徒も参加をいたします。そして、14時から15時半を目途に各学校での辞任式を終えて、夕刻（16時）に町としての退職者離任式を行ってはどうかという案になります。これは、これまで4月当初の稼業日に行っていたものです。実際に教育委員さんに出席いただくのは、退職者離任式に出席していただくことになりますので、日程がはっきり決まりましたら後程正式に通知いたします。この後の見通しとして、この案でご承認いただければ、来週月曜日19日に町の校長会がございます。その校長会で改めて諮りまして、この案でいいのか、学校の意見を吸い上げながら決定していく流れです。資料には書いておりませんが、30日に行うメリットとしてこちらが考えているのが、退職の方にとっては1日で完了します。ただ、白石町くらいだったらいいですが、例えば伊万里市とか有田町は、佐賀市からの移動が大変厳しいので杵西地域の市町の中では、29日に行うという市町も多くあります。もう一つ、デメリットとして、臨時の任用の方については、3月29日で任用が切れますので、30日に出てきていただくのは、ボランティアの形になろうかと思えます。いずれにしても、年度内にこれを行わないといけないというのは、県での共通理解事項ですので、30日に行うのか、それとも29日に行うかのどちらかになると思えます。この2日間の開催ということで進めていきますので、いずれにしても子どもたちの休業中での参加となり事前の周知と理解が必要となります。児童、生徒の扱いについては、授業日数としてカウントはしません。参加どうしてもできない場合は、結構ですという形になります。中学校は、部活動の大会が組まれていることもあるというのを聞きました。その場合は、校長裁量ということで判断していただきたいとお願いをする予定です。本当は、決定した形でお示しをしたかったのですが、来週の校長会を受けて最終的に学校現場のご意見をお伺いして決定したいと思えます。

北村教育長：補足説明ですが、来年度は、3学期の修了式の日に関下一斉に辞任式を行うという風になってます。それを目指そうと、その目的は、これまで新年度の始業式の日担任発表として、名前だけ言いまして、

子どもたちがどんな先生が来られるのか分らなかったというわけです。そうではなくて、新年度にきちっとスタッフも揃えてスタートを切るようにという措置をと、前から出ていましたが、他県では早くやっているところもあります。やっとなりました。本年度は、移行期として、30日を基準日として、色々と大会とかもあっているようですので、それぞれの市町の教育委員会のご都合で進めてくださいということです。

稲佐委員：この日は、学年末休業日ですよ、そうしたら子どもを登校させる際は、事前に知らせておくということですね。

石橋主任主事：そうですね。これが決まり次第、ひと月くらい前には学校の方からお知らせ文書を出します。

松尾委員：任意でしょうから、どれくらい来てくれるのかというところもございますね。

稲佐委員：部活の練習試合等も入っていたら来れないでしょうしね。

石橋主任主事：出席については、ご家庭でのご判断ということにならざるを得ないと思います。

委員全員承認（付議第6号）

5 その他 12:11

(1) 卒業式、入学式の出席割振りについて

川畑係長：資料に沿って説明。

（委員全員承諾）

(2) 第23回歌垣の郷ロードレース大会について

川畑係長：資料に沿って説明。

（委員全員承諾）

(3) 3月行事予定表

川畑係長：資料に沿って説明。

（委員全員承諾）

北村教育長：閉会の前に失礼いたします。先ほど冒頭にもお話もしましたが、平成22年からあつという間の8年間だったと思いますが、教育委員をしていただきありがとうございますございました。まだまだ、お元気ですので、引き続きご留任いただいてという思いもありましたけど、今回を持って退きたいということでした。どうぞ、くれぐれもご自愛いただき、また、ご意見、ご提案等いただければと思いますし、併せて、色々お話お聞きしていただければと思います。いずれにしても本当にお疲れ様でございました。ありがとうございました。

大串委員：本当に皆様方にはお世話になりました。心よりお礼申し上げます。

今日みたいに、こういう席を皆様方とはできないのかなあとと思うと一抹の寂しさを感じますけど、反面、堤新委員さんに切れ目なくバトタッチできたというところに、さわやかさを感じるというか、ほっとしているところでございます。まあ、わたくし自身東京とか北海道に行くわけではないし、ずっと地元におりますし、皆様方とどこでどうご縁があって、お付き合いいただくことになるかわかりませんし、今後ともとにかくよろしく願いいたします。白石町の教育というのは、これから、先ほどの統合の話ではありませんけど、まだまだ、難しい課題が山積みのところ大変だとは思いますが、とにかく健康に気を付けて頑張っていたらなど、わたくし自身も一町民として、明日からでは、白石町の子どもをカラッと忘れるわけにもいきませんし、一町民として、白石町の子どもの成長を願いながら見守っていきいたいなという感じでおります。どうも、本当にありがとうございました。お世話になりました。

6 閉 会 12:21

吉岡課長